

R2年度 読書感想文 選考結果

最優秀	2年2組	山本 奈津	【幡豆中】	『イガヌの雨』	加藤 シゲアキ
第66回青少年読書感想文愛知県コンクール応募作品					
優 秀	1年3組	佐々野夏蓮	【平坂中】	『君が落とした青空』	櫻 いいよ
佳 作	1年3組	高橋 綺乃	【一色中】	『二十四の瞳』	壺井 栄
	1年5組	渡辺 愛華	【鶴城中】	『午前0時の忘れもの』	赤川 次郎
	1年6組	小林 千歩	【一色中】	『ユーチュー部』	山田 明

*佳作は、上から学年クラス名簿昇順になっています

審査概評 コロナ禍の中で、今年は特例で自由応募にしたが、15編の応募作品がありました。自主的参加ということで、どの作品も、例年に比して頑張っているように感じた。どんな内容の本であるか、まず大枠を示し、登場人物の性格、ストーリー展開など細部に入っていくとわかりやすいのだが、この型を持たないために、書き手自身が難儀しているように感じた。本から「一生懸命生きる」「人間関係を良くする」「毎日努力する」などを学んだとしたら、日常生活の自己現実化の問題として、解決の一步を示すと良い。SDGsも同様に感じた。誤字が目立った。書いたものは読み直す習慣があると良い。数年前に流行った、人生の生き方を示唆する所謂「ハウ・ツー」ものを取り上げる人は、ほとんどなく、ストーリーの展開を楽しむ「小説」を扱った人は多かった。

最優秀賞に選ばれた山本奈津さんに、インタビューをしました。

- Q. 『イガヌの雨』を選んだきっかけは何ですか？
- A. もともと加藤シゲアキさんの書かれるお話が好きだからです。その中でも特に表現が綺麗で大好きなお話だったので選びました。
- Q. 読書感想文の書き方のポイントを教えてください。
- A. 自分の思ったことや感じたこと、伝えたいと思ったことを混ぜずに1つずつ書いていくのがいいかなと思います。
- Q. 好きな本やお勧めの本などを教えてください。
- A. 同じ加藤シゲアキさん著書の中では『Burn. -バーン-』（角川文庫）です。綺麗だけど決して透明ではなく、懐かしさを感じる内容が大好きです。お勧めの本は『浜村渚の計算ノート』シリーズ（青柳碧人著、講談社文庫）です。数学がテーマなので少し難しいですが、登場人物たちがわかりやすく説明してくれるのでサクサク読み進めることができるのでお勧めです。

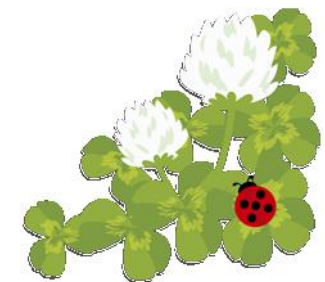
『傘をもたない蟻たちは』
加藤シゲアキ
(角川文庫)
恋愛から心理サスペンスまで様々なジャンル6編(文庫7編)の短編小説。イガヌの雨は、未知の生物が中毒性のある味。匂い風景の描写がリアルです。

『君が落とした青空』
櫻いいよ
(スターツ出版文庫)
付合って2年経つ実結と修弥。気まずく別れた日の放課後、修弥が交通事故に。実結はパニックになるが、気づくと同じ日の朝を迎えていた。

『午前0時の忘れもの』
赤川次郎
(集英社文庫)
バスの転落事故で湖に沈んだ人びとが、愛する人に会うために天国から戻ってきた。

『二十四の瞳』
壺井 栄
(新潮文庫)
海辺の寒村に、大石先生が赴任してきた。担当する分教場の小学一年生は十二人。

『ユーチュー部!!』
山田 明
(部活系空色ノベルズ)
ポンコツ陸上部が、ユーチューブでグングン強くなる。爆笑と感動のサクセスストーリー。



『Burn. バーン』
加藤シゲアキ
(角川文庫)
天才子役から演出家に転身したレイジは授賞式帰りの事故により抜け落ちていた20年前の記憶が蘇る。

『浜村渚の計算ノート』
シリーズ 青柳碧人
(講談社文庫)
数学大好きな女子中学生の浜村渚がテロ組織『黒い三角定規』に立ち向かう物語。